

わたしもひとこと



佐藤真奈美氏

これからの与論
を支えていく一
人として!

平成26年6月から保健センターに勤めさせていたでいます。佐藤真奈美と申します。与論高等学校を卒業してから、8年の歳月が経ちました。私のふるさと与論島は、美しい自然にあふれ、島を包み込むような青い空

プロフィール
○氏名 佐藤真奈美
○住所 与論町麦屋
○職業 保健センター勤務
ミス与論

と白い砂浜、そしてエメラルドグリーンに輝く海に浮かんだ美しい島です。時の流れとともに、街並みは少しずつ変化しています。が、変わらず豊かで美しい自然にあふれています。島民の皆様の誠の心、農業・漁業・観光業など、与論島の発展のために力を注ぐ島の皆さんの姿は、これから後も生まれ育った与論で働いていくという私の決意をより一層強くします。

勤めました。地域の循環器基幹施設として、三次救急に対応しているという病院の方針に強く感銘を受け、循環器内科病棟で3年間看護を学びました。その中で目にした光景は、若い人から高齢の方まで、病氣と闘う人々の姿でした。医療の現場は「日進月歩」ではあるけれど、最新の医療を駆使しても、助からない命もあります。

島を出たあの当時思い描いていた夢、「看護師や保健師の資格・免許を取得し、いつか島の人たちのために働き、育ててくれた与論に恩返しをすること」は、今も変わりません。こうしてふるさと与論の地で働かせていただいていることに、大変感謝しています。

保健センターの職員一同

私が考える与論島の魅力とは、最新の医療に頼らなくても、元気に暮らすことができる島、安心して暮らせる島であることだと思います。いつまでも若々しく、健康に暮らせるように、活力のあるユニクスをつくりあげていきたいです。

編集後記
最近、親戚や知人を案内して百合ヶ浜に何度か渡ったが、行くたびに観光客がいつぱいで驚かされた。商工観光課によると5月末現在で、去年を既に2千人以上上回っているとのことである。
増えた要因としては、近年マスコミへの露出度が増えたことやこれまで行ってきたファン感謝祭での宣伝効果、プレミアム付き商品券の発行などが挙げられるが、何といても来島した観光客が島の様子や出来事をラインやフェイスブック等のSNSで、直ちに流してくれる口コミ効果が大きく影響しているのではなからうか。
観光客をもてなすシマンチュ(島人)の誠の心が、正にいかせる時が到来している。ここに第116号を発行できたことを、町民及び関係各位に感謝申し上げる(福地)。